

公共施設の参考事例

現況

望ましい事例

反射鏡



支柱とミラー枠の人工的な色彩は、周辺環境に調和しない。



支柱、ミラー外枠および背面に関しては、自然景観地区はダークブラウン、歴史景観地区およびまちなか景観地区はダークグレーとする。

道路照明



明度の高い色彩であり、景観の中では浮き立った要素となる。



形態要素を減らし、シンプルな造形とする。色彩は、自然景観地区はダークブラウン、歴史景観地区およびまちなか景観地区はダークグレーとする。

歩行者照明



周辺環境に配慮した照明デザインが求められる。



まちなみ景観と調和させるため、余分な形態を減らし、水平、垂直のみの形態とする。色彩は、自然景観地区はダークブラウン、歴史景観地区およびまちなか景観地区はダークグレーとする。

現況

望ましい事例

車両用防護柵



自然の中には存在しない彩度の高い色彩であるため、周辺環境の中で浮き立った要素となっている。また、ガードレールが面で構成されているため存在感が強すぎる。



視線を遮る要素を極力減らすため、ガードパイプを基本とする。色彩は自然景観地区はダークブラウン、歴史景観地区およびまちなか景観地区はダークグレーとするが、まちなか景観地区では必要に応じてグレーベージュの設定も可とする。



明度が高い置き式のガードレールは存在感が強すぎるため景観上好ましくない。



ガードレールの場合の色彩は、自然景観地区はダークブラウン、歴史景観地区はダークグレー、まちなか景観地区では低明度では印象が重いためグレーベージュとする。

横断防止柵



フレーム内にあるマークの表現は、景観上繁雑な印象を与える。



部材を線の要素とすることで視線を遮る要素を極力減らす。色彩は自然景観地区はダークブラウン、歴史景観地区およびまちなか景観地区はダークグレーとする。

現況

望ましい事例

転落防止柵



明度が高く人工的な色彩であるため周辺環境に馴染まない。



色彩は自然景観地区はダークブラウン、歴史景観地区およびまちなか景観地区はダークグレーとする。

ポラード



ステンレスの素材色は周辺環境から浮き立つため、景観上好ましくない。



色彩は自然景観地区はダークブラウン、歴史景観地区およびまちなか景観地区はダークグレーとする。装飾は避け、垂直性のあるシンプルな形態とする。また、自然素材の活用も積極的に行う。

フェンス



明度が高い色彩であるため景観上好ましくない。



周辺環境と調和する低明度色彩の設定を行う。形態は透過性の高い部材の選定を行う。また、必要に応じて木材等自然素材の活用を行う。

現況

望ましい事例

橋梁



地域や場所のイメージを直接的な表現で装飾を施している。これは繁雑な印象となるため景観上好ましくない。また、明度や彩度が高い色彩の場合は、周辺環境に馴染まず経年変化による汚れが目立つ。



構成要素を減らしシンプルな形態とすることで、存在感を極力消す。色彩は自然景観地区はダークブラウン、歴史景観地区およびまちなか景観地区はダークグレーとする。

バス停上屋



不揃いな形態のため統一感がなく景観上好ましくない。



形態は水平、垂直の要素で構成する、また、周辺環境と調和した色彩とする。

バス停表示



異なる形状のバス停サインが並んでいるため繁雑な印象を受ける。

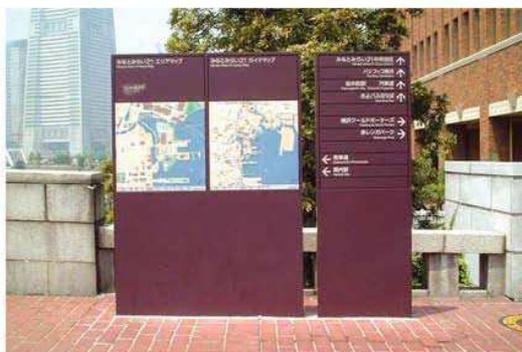


余分な要素を減らし、機能性を考慮した形態とする。

各種サイン



乱立したサインは複雑な印象を与え、景観上好ましくない。



周辺と調和した色彩を選定し、シンプルな形態とすることで景観との調和を図る。



色彩や形態が異なるサインが乱立しており、景観を阻害している。



異なる情報を1つのサインに集約し、周辺環境と調和した色彩と素材の設定を行うことで存在感を消す。



色彩や形態が異なるため複雑な印象を受ける。また、情報内容が整理されておらず分かりにくい。



水平、垂直のシンプルな形態と低明度の色彩設定により景観に配慮する。

現況

望ましい事例

掲示板



シンプルな形態を採用しているが、人工的な素材色は周辺環境と調和しない。



景観の中で背景となるよう低明度色彩を設定する。

郵便ポスト



貼り紙類が景観を阻害する要因となっている。



定期的なメンテナンスに努め、貼り紙を行わない。



地域性の表現において、直喩的な装飾は景観上好ましくない。

現況

望ましい事例

電話ボックス



ガラスのフレームおよび屋根が人工的な色彩であるため周辺環境に馴染まない。後付の簡易な庇が美観を損ねている。



余分な形態要素を減らしシンプルな形態とする。フレームの色彩は全てダークグレーの設定とする。

交通標識柱



支柱の色彩がボラード等の異なる工作物と統一されず、通りが繁雑に感じられる。



支柱の色彩は、自然景観地区はダークブラウン、歴史景観地区およびまちなか景観地区はダークグレーとする。

信号機および
信号機柱



支柱や信号機は、景観の中で背景としてとけ込む色彩とする必要がある。

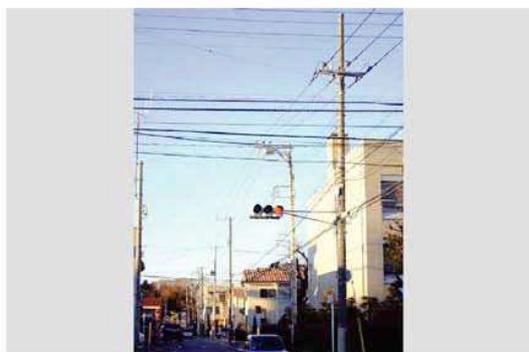


工作物要素を極力減らすため、照明や道路標識等の共架を図っていくことが望ましい。支柱、信号機の色彩は、自然景観地区はダークブラウン、歴史景観地区およびまちなか景観地区はダークグレーとする。

現況

望ましい事例

電柱



電柱と電線は、景観の中で美観を損う要素となっている。

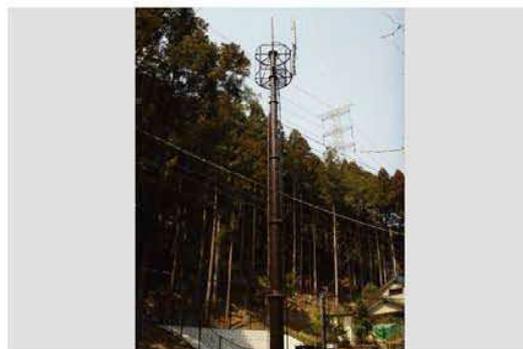


景観上、幹線は地中化することが最も望ましい。

鉄塔



明度の高い色彩は周辺環境に馴染まないため、存在感を消す色彩の設定が必要である。



設置場所により山の風景や空とけだませ、景観との調和を図る。

遊具



山あいの公園などでは、原色に塗られた遊具は、周辺環境に馴染まず突出した要素となっている。

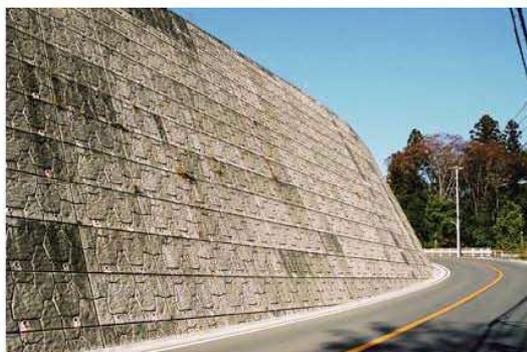


自然の素材を活用することで、経年変化においても美観が保たれる。

現況

望ましい事例

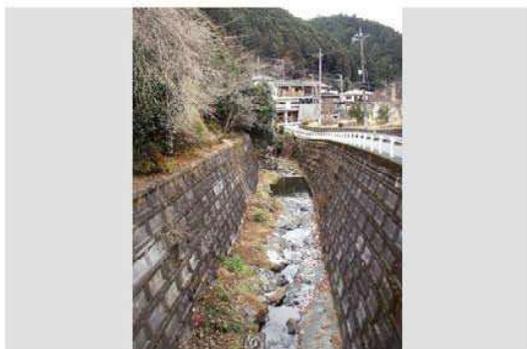
法面保護



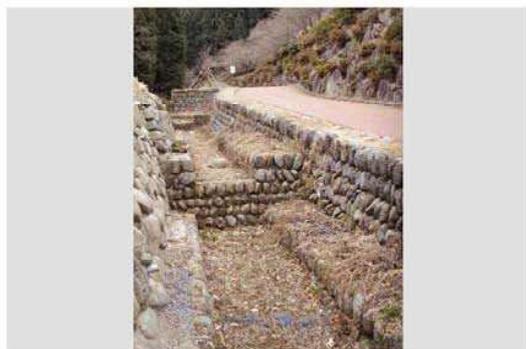
人工的なコンクリートブロックで覆われているため圧迫感を感じる。



緑化は自然景観と連続的な景観を形成することができる。



河川を人工的な素材で整備しているため、自然景観を阻害している。



地域の特色である玉石を選定することで、周辺環境との一体感が感じられる。



玉石を浅い目地で積んだ場合は、コンクリート面が目立つため景観上好ましくない。



目地を深くして玉石を積み上げることで、自然に馴染む陰影のある表情をつくることできる。

現況

望ましい事例

歩道橋



周辺環境に馴染まない明度の高い色彩を使用しているため、景観上好ましくない。



橋桁や高欄の色彩は自然景観地区はダークブラウン、歴史景観地区およびまちなか景観地区はダークグレーとする。装飾は避け、シンプルな形態とする。

公衆トイレ



設置環境を考慮せず、高明度色彩の既製品を使用しているため公園の美観を損ねている。



トイレは量感を持つため低彩度色彩を採用し、景観との調和を図る。

ベンチ



人工的な明度の高い色彩は汚れが目立ち、景観と調和しない。



水平、垂直で構成したシンプルな形態とする。また自然の風合いを生かした素材を選定し、景観との調和を図る。

現 況

望ましい事例

歩道舗装



周辺環境を考慮せず、無機質なアスファルト舗装を使用しているため景観の美感を損ねている。



素材感のある低彩度の素材を設定し、周辺景観と調和を図る。



彩度が高い色彩は周辺環境に馴染まないため、景観上好ましくない。

他都市事例



景観の背景となるよう彩度の低いアースカラー系の色彩を設定する。



装飾性のある舗装パターンは煩雑な印象を与えるため、周辺環境を考慮し十分な検討が必要である。



舗装パターンを設ける場合は、落ち着きのあるシンプルな配列とする。

問合せ 青梅市まちづくり経済部都市計画課
〒198-8701 東京都青梅市東青梅1-11-1
TEL 0428-22-1111(内線2526)